

VI

主観的指標（札幌Well-being指標）素案の検討

1 学識経験者からの意見聴取

(1) 学識経験者からの意見聴取のまとめ

➤ 学識経験者（小泉教授、島原所長の2名）の意見聴取を踏まえた素案の取りまとめに係る示唆を以下に整理する。

① 主観的指標素案は良くまとまっており、幾つか微修正を加え最終化する

- ・⑥札幌ライフを構成する項目のうち、都市的利便性や四季に関する項目は重複がみられるため、調整すると良い。【小泉教授】
- ・⑤地域社会の寛容性は幸福度との相関が強くなくとも指標に採用した方が良い。寛容性は若年層や女性、外国籍住民の暮らしやすさに関する指標であり、既往研究でも寛容性が高い都市ではイノベーションが起こりやすいといった研究結果が出ている。【小泉教授】
- ・札幌市には開拓地としての文化が残っており、人間関係にも人が困っていれば助けるが、余計な干渉はしないという特徴があるのではないかな。その点をうまく指標案に反映できると良い。【小泉教授】
- ・地域社会の寛容性に関する指標については、現状のように説明力の強い項目をピックアップする形で問題ない。【島原所長】
- ・#33「経済成長がとても大切だと考える風潮がある」は、元の表現を変更することは問題ないが、「本当にそうなのか」と考えさせるニュアンス（踏み絵を踏ませる）を残した方が良い。【島原所長】
- ・「札幌市の未来が明るい」と信じている」という主旨の指標があっても良い。【島原所長】
- ・指標間の項目数に偏りがあるものの、⑤地域社会の寛容性や⑥札幌ライフが多面的な概念であることを踏まえると、大きな問題ではない。市民に伝わりやすい指標であることが重要である。【島原所長】

② 指標の活用については中長期的なスタンスで取り組む必要がある

- ・第1回ヒアリングでも伝えたように、指標のスコアは政策の総合力によって徐々に上昇するものであるため、庁内・議会において10～15年スパンの取り組みになることを訴求すると良い。【小泉教授】
- ・指標のスコアの上昇は政策の質的な側面と強く結びついている。指標は、今後の施策の在り方を検討するにあたってのヒントを得るためのものと捉えると良い。【小泉教授】
- ・今回の指標には含まれていないが、シビックプライドについて発信する際は留意が必要である。シビックプライドは、変化しないことに根差している感覚であり、変化が希望につながるという発想とは矛盾する。現在の幸福度や定住度に影響を与えるものの、未来の希望の上昇にはあまり効果が無いという調査結果が出ている。【島原所長】

③ ペルソナ分析からの気付きも得られ、ペルソナごとの課題に着目した施策検討に活用できる

- ・世代の分断が60代と70代の間で表れていることから、就業しているか否かによって分断が表れるのではないかな。ワークライフバランスや時間的なゆとりの有無に着目すると良いのではないかな。【小泉教授】
- ・ペルソナ像には違和感はない。70歳以上がいわゆる「逃げ切り世代」であることが如実に表れていると思う。育児世代にネガティブな要素が多いことも興味深い。【島原所長】

1 学識経験者からの意見聴取

(2) 意見聴取の概要【東京大学・小泉教授】

日時：2024年3月12日（火）9:30-10:30 @リモート

参加者：東京大学まちづくり研究室：小泉秀樹教授

札幌市まちづくり政策局政策企画部政策課：渡邊亮平企画担当係長

NTTデータ経営研究所：石丸、伊藤、山下、高橋（記）

(1) 主観的指標素案について

- ・ 良くまとまっている。あとは微調整を行えば良い。細かな所感は以下の通り。
 - ✓ ⑥札幌ライフを構成する項目のうち、都市的利便性や四季に関する項目は重複がみられるため、調整すると良い。
 - ✓ ⑤地域社会の寛容性は幸福度との相関が強くなくとも指標に採用した方が良い。寛容性は若年層や女性、外国籍住民の暮らしやすさに関する指標であり、既往研究でも寛容性が高い都市ではイノベーションが起こりやすいといった研究結果が出ている。
- ・ 札幌市には開拓地としての文化が残っており、人間関係にも人が困っていれば助けるが、余計な干渉はしないという特徴があるのではないか。その点をうまく指標案に反映できると良い。

(2) 幸福感を目的変数、満足感と必要度のギャップを説明変数に設定した分析について

- ・ 本分析結果は、「その領域における政策を重要だと捉えているが、満足度が相対的に低い層」へのアプローチを検討するのに有用である。行政としては「重要だと感じている政策分野への満足度が低い住民を減らす」という発想も重要であるため、どのような住民が当てはまるのか、属性等を確認すると良い。

(3) ペルソナ分析について

- ・ 世代の分断が60代と70代の間で表れていることから、就業しているか否かによって分断が表れるのではないかとワークライフバランスや時間的なゆとりの有無に着目すると良いのではないかと。

(4) 指標の活用について

- ・ 第1回ヒアリングでも伝えたように、指標のスコアは政策の総合力によって徐々に上昇するものであるため、庁内・議会において10～15年スパンの取り組みになることを訴求すると良い。
- ・ 指標のスコアの上昇は政策の質的な側面と強く結びついている。指標は、今後の施策の在り方を検討するにあたってのヒントを得るためのものと捉えると良い。

1 学識経験者からの意見聴取

(2) 意見聴取の概要 【ライフルホームズ総研・島原所長】

日時：2024年3月12日（火）14:00-15:00 @リモート

参加者：ライフルホームズ総研：島原万丈様

札幌市まちづくり政策局政策企画部政策課：渡邊亮平企画担当係長

NTTデータ経営研究所：石丸、伊藤、高橋（記）

(1) 主観的指標素案について

- 指標案について大枠での違和感はない。細かな所感は以下の通り。
 - ✓ 地域社会の寛容性に関する指標については、現状のように説明力の強い項目をピックアップする形で問題ない。
 - ✓ #33「経済成長がとても大切だと考える風潮がある」は、元の表現を変更することは問題ないが、「本当にそうなのか」と考えさせるニュアンス（踏み絵を踏ませる）を残した方が良い。
 - ✓ 「札幌市の未来が明るい信じている」という主旨の指標があっても良い。
 - ✓ 指標間の項目数に偏りがあるものの、⑤地域社会の寛容性や⑥札幌ライフが多面的な概念であることを踏まえると、大きな問題ではない。市民に伝わりやすい指標であることが重要である。

(2) ペルソナ分析について

- ペルソナ像には違和感はない。70歳以上がいわゆる「逃げ切り世代」であることが如実に表れていると思う。育児世代にネガティブな要素が多いことも興味深い。

(3) 指標の活用について

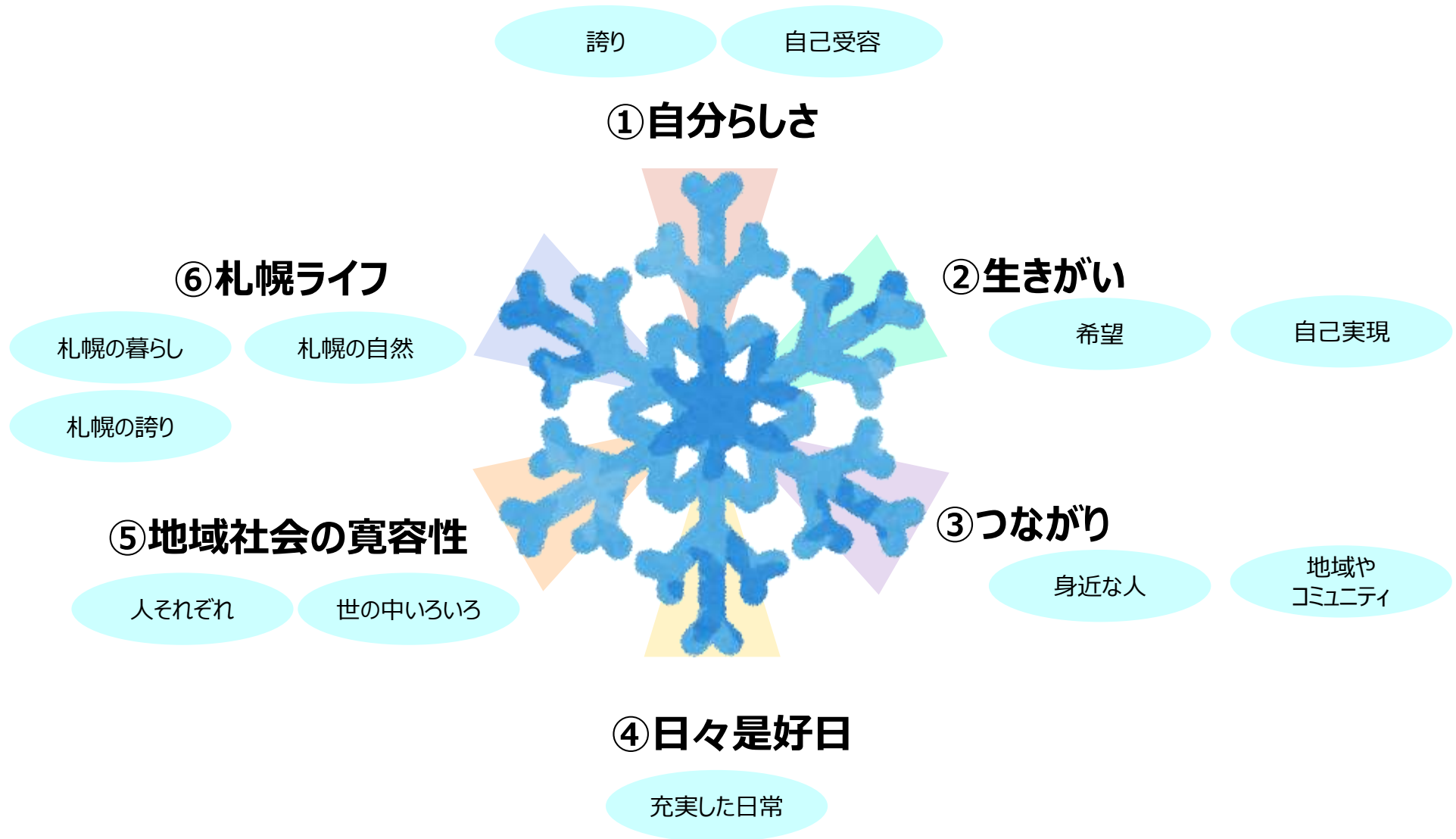
- 施策と紐づけた活用には、次の2つの方法が考えられる。
 - ① 荒川区の事例やデジタル庁が配布している資料を参考に、各指標と政策を対応させる。
 - ② 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関連性を整理する。
※ただし、人口論（人口を増やすこと）に偏った発想にならないよう、人口ビジョンの上位概念である総合戦略と紐づける。
- 指標と施策を紐づけずに活用するには、指標に関する取り組みを担当する部署から情報発信すると良い。内閣府による国民生活調査のようなイメージで、調査結果をダッシュボード的に公開する方法や、事業の横串を通すために活用する方法がある。

(4) 指標の活用について

- 今回の指標には含まれていないが、シビックプライドについて発信する際は留意が必要である。シビックプライドは、変化しないことに根差している感覚であり、変化が希望につながるという発想とは矛盾する。現在の幸福度や定住度に影響を与えるものの、未来の希望の上昇にはあまり効果が無いという調査結果が出ている。

2 素案（札幌Well-being指標素案）の検討

（1）素案のイメージ



2 素案（札幌Well-being指標素案）の検討

（2）素案を構成する指標の柱・指標・項目

- アンケート分析による「幸福度への貢献」、既往研究による「人口増への貢献」、自由記述を含むアンケート分析より「札幌らしさの反映」の3つの観点から45項目を抽出し、20の指標・6つの指標の柱に整理した。
- 「幸福度への貢献」については、アンケート調査におけるキャントリルラダー（現在及び5年後(未来)の幸福度）との統計的優位性が認められるアンケート項目を採用した。このため、指標の測定に際しては、下表に示す45のアンケート項目に加え、キャントリルラダーについても併せてアンケート調査を行う。
- 指標の柱⑤地域社会の寛容性については、既往研究でも幸福度との相関は強くない一方、人口の社会増減率との相関が強いことが分かっていることから、主に人口増への貢献の観点から指標・項目を採用した。
- また、人口増への貢献については、子供の有無に係るアンケート回答との相関が一定以上※みられる項目にも印を付した。
- なお、項目（アンケート項目）については、市民アンケート時の設問から、より分かりやすい文章となるよう修正を加えているものもある。

※人口増への貢献について、アンケート設問の回答（子どもがいる）との相関係数が0.1以上の項目に△印を付した。

指標の柱 (構成要素)	指標	#	項目（アンケート項目）	幸福度への 貢献	人口増への 貢献	札幌らしさ の反映
①自分らしさ	誇り	1	誇りをもって生活を送っている。	○	△	
		2	いまの生活を楽しんでいると思う。	○		
	自己受容	3	自分のすることと他者がすることをあまり比較しない。	○		
		4	失敗や不安な感情をあまり引きずらないと感じる。	○	△	
②生きがい	希望	5	日々の生活に希望をもっている。	○	△	
		6	住んでいる地域に希望を持っている。	○		
	自己実現	7	多くのことを達成してきたと感じる。	○	△	
		8	何かしらの目標を持っている。	○		
		9	夢中になれる活動（仕事・スポーツ・趣味・ボランティアなど）がある。	○		
		10	目標達成に向けて、成長できる機会がある。	○		
③つながり	身近な人との つながり	11	家族が楽しく過ごせていると感じる。	○	△	
		12	困ったとき、苦しいとき、辛いときに夫婦・パートナーで助け合える。	○		
		13	友人に思いやりの気持ちをもって接している。	○		
		14	友人が楽しく過ごせていると感じる。	○		
	地域やコミュニティ とのつながり	15	職場・学校・趣味やサークル等の人たちと絆が強く、信頼できる関係にある。	○		
		16	職場・学校・趣味やサークル等での人間関係は良好である。	○		
		17	職場・学校・趣味やサークル等の人たちに感謝の気持ちをもっている。	○		
		18	困ったとき、苦しいとき、辛いときに職場・学校・趣味やサークル等の人たちと助け合える。	○		
		19	居住する地域の人々に思いやりの気持ちをもって接している。	○	△	
		20	居住する地域の人々との関係は良好である。	○	△	
		21	誰かと交流することが楽しい。	○		

2 素案（札幌Well-being指標素案）の検討

（2）素案を構成する指標の柱・指標・アンケート項目

指標の柱 (構成要素)	指標	#	項目（アンケート項目）	幸福度への 貢献	人口増への貢 献	札幌らしさ の反映
④日々是好日	充実した日常	22	自分がしたいことをするための、欲しいものを購入するための経済的な余裕がある。	○		
		23	日々の生活を送るのに必要な所得や資産がある。	○		
		24	心身ともに健康であると感じている。	○		
		25	適切な食事、栄養がとれていると感じる。	○	△	
⑤地域社会の 寛容性	人それぞれ	26	結婚して子どもを持つことこそ、女性の幸福だと考える人が多い。	△	○	
		27	結婚しないで独身で生きても肩身の狭い思いをすることはない。	△	○	
		28	他人のことはあまり干渉しない雰囲気がある。	△	○	
		29	LGBTQなどについて、繊細な気づかいができる人が多い。	△	○	
	世の中 いろいろ	30	若者の挑戦を応援する気風がある。	△	○	
		31	市外出身の人や外国人も、地域住民の一員として受け入れられていると感じる。		○	
		32	身体などが不自由な人への理解が職場などの身近なところで進んでいると感じる。	△	○	
		33	多少のギャップが生じて、経済成長の方が大切だと考える風潮がある。	△	○	
⑥札幌ライフ	札幌の暮らし	34	社会の仕組みやルールなどに対して息苦しさや窮屈さを感じる人が多い。	△	○	
		35	札幌市の市民文化やライフスタイルが、生活を豊かにしていると感じている。	○		○
		36	都会的な遊び、ファッションなど、余暇を楽しむ充実した環境が、生活を豊かにしていると感じている。	○		○
		37	豊富で新鮮な食材や美味しい料理が日常生活を豊かにしている。			○
		38	買物、娯楽、医療、文化など生活利便性が高く生活しやすい。			○
		39	都市と自然の両方を満喫するライフスタイルを楽しむことができる。			○
	札幌の自然	40	ゆとりがあって優しく過干渉しない人の気質が心地よい。			○
		41	雪と共存した生活を楽しむことができている。	△		○
		42	四季それぞれと移ろいを楽しむことができる。			○
		43	豊かな自然の中での活動を身近に楽しむことができる環境を楽しんでいる。			○
札幌の誇り	44	「札幌市」で生活していることに誇りを感じている。	○	△	○	
	45	札幌市に観光や仕事で今より多くの外国人に訪れてもらえるようになることは、誇らしく思う。	△		○	
幸福度	キャントリルラダー (自分自身の幸せ)		ハシゴを想像してみてください。ハシゴの各段には数字が振ってあります。 ハシゴを上るにつれて数字は大きくなっていきます。 最下段は0で、最上段は10です。 最上段はあなたにとって最高の人生で、最下段は最低の人生です。 ①今現在、あなたはハシゴの何段目に立っていると思いますか？ ②5年後、あなたはハシゴの何段目に立っていると思いますか？	—	—	—

2 素案（札幌Well-being指標素案）の検討

（3）素案と先行事例との比較

- 札幌Well-being指標素案の各項目と先行事例の既存主観アンケート項目（今回ヒアリングを実施した自治体、及びLWCIのアンケート項目）を突合し、先行事例とは重複しない、札幌Well-being指標の独自性がうかがえる項目を下表に示す。

※LWCI、熊本県、富山県、荒川区との重複の列にて記載されている番号は、各自治体等アンケート項目の設問番号を指す。なお、具体的な設問は本冊の「参考資料」に示す。

指標の柱 (構成要素)	指標	#	項目（アンケート項目）	札幌 素案のみ	LWCI との重複	熊本県 との重複	富山県 との重複	荒川区 との重複
①自分らしさ	誇り	1	誇りをもって生活を送っている。			3-2		
		2	いまの生活を楽しんでいると思う。	○				
	自己受容	3	自分のすることと他者がすることをあまり比較しない。	○				
		4	失敗や不安な感情をあまり引きずらないと感じる。	○				
②生きがい	希望	5	日々の生活に希望をもっている。	○				
		6	住んでいる地域に希望を持っている。	○				
	自己実現	7	多くのことを達成してきたと感じる。	○				
		8	何かしらの目標を持っている。			3-1		
		9	夢中になれる活動（仕事・スポーツ・趣味・ボランティアなど）がある。				6-12	
		10	目標達成に向けて、成長できる機会がある。		50			
③つながり	身近な人との つながり	11	家族が楽しく過ごせていると感じる。				7-1	
		12	困ったとき、苦しいとき、辛いときに夫婦・パートナーで助け合える。		34		7-3	
		13	友人に思いやりの気持ちをもって接している。	○				
		14	友人が楽しく過ごせていると感じる。				8-2	
	地域や コミュニティとの つながり	15	職場・学校・趣味やサークル等の人たちと絆が強く、信頼できる関係にある。				9-3	
		16	職場・学校・趣味やサークル等での人間関係は良好である。				9-1	
		17	職場・学校・趣味やサークル等の人たちに感謝の気持ちをもっている。	○				
		18	困ったとき、苦しいとき、辛いときに職場・学校・趣味やサークル等の人たちと助け合える。	○				
		19	居住する地域の人々に思いやりの気持ちをもって接している。				6-18	
		20	居住する地域の人々との関係は良好である。		36		10-1	
		21	誰かと交流することが楽しい。	○				

2 素案（札幌Well-being指標素案）の検討

（3）素案と先行事例との比較

※LWCI、熊本県、富山県、荒川区との重複の列にて記載されている番号は、各自治体等アンケート項目の設問番号を指す。なお、具体的な設問は本冊の「Ⅷ 参考資料」に示す。

指標の柱 (構成要素)	指標	#	項目（アンケート項目）	札幌 独自指標	LWCI との重複	熊本県 との重複	富山県 との重複	荒川区 との重複
④日々是好日	充実した日常	22	自分がしたいことをするための、欲しいものを購入するための経済的な余裕がある。			3-3		
		23	日々の生活を送るのに必要な所得や資産がある。				6-3	
		24	心身ともに健康であると感じている。		43,44		6-1,2	
		25	適切な食事、栄養がとれていると感じる。				14-8	16
⑤地域社会 の寛容性	人それぞれ	26	結婚して子どもを持つことこそ、女性の幸福だと考える人が多い。	○				
		27	結婚しないで独身で生きても肩身の狭い思いをすることはない。	○				
		28	他人のことはあまり干渉しない雰囲気がある。	○				
		29	LGBTQなどについて、繊細な気づかいができる人が多い。	○				
	世の中 いろいろ	30	若者の挑戦を応援する気風がある。	○				
		31	市外出身の人や外国人も、地域住民の一員として受け入れられていると感じる。	○				
		32	身体などが不自由な人への理解が職場などの身近なところで進んでいると感じる。		41			
		33	多少のギャップが生じて、経済成長の方が大切だと考える風潮がある。		37			24-1
⑥札幌ライフ	札幌の暮らし	34	社会の仕組みやルールなどに対して息苦しさや窮屈さを感じる人が多い。	○				
		35	札幌市の市民文化やライフスタイルが、生活を豊かにしていると感じている。	○				
		36	都会的な遊び、ファッションなど、余暇を楽しむ充実した環境が、生活を豊かにしていると感じている。	○				
		37	豊富で新鮮な食材や美味しい料理が日常生活を豊かにしている。	○				
		38	買物、娯楽、医療、文化など生活利便性が高く生活しやすい。	○				
		39	都市と自然の両方を満喫するライフスタイルを楽しむことができる。	○				
	札幌の自然	40	ゆとりがあって優しく過干渉しない人の気質が心地よい。	○				
		41	雪と共存した生活を楽しむことができている。	○				
		42	四季それぞれと移ろいを楽しむことができる。	○				
	札幌の誇り	43	豊かな自然の中での活動を身近に楽しむことができる環境を楽しんでいる。	○				
		44	「札幌市」で生活していることに誇りを感じている。	○				
		45	札幌市に観光や仕事で今より多くの外国人に訪れてもらえるようになることは、誇らしく思う。	○				

2 素案（札幌Well-being指標素案）の検討

（4）札幌Well-being指標素案の提案

- 札幌市のWell-beingを計測する主観的指標は、市民一人ひとりの多様な幸せが6つの枝の雪に結晶したものである。
- 6つの枝には、市民のWell-beingを体現する12の指標、さらにWell-beingを計測（アンケート）する45の項目が紐づいている。
- 45の項目は、市民の幸福度との結びつきの強さ、合計特殊出生率の改善や若年層の転出抑制など札幌市の課題への効果、地域特性や心象など札幌らしさなどの観点から抽出されたもので構成されている。
- 「幸福度への貢献」については、アンケートのキャントリルラダー（現在及び5年後（未来）の幸福度）との統計的優位性が認められたアンケート項目を採用した。このため、指標の測定に際しては、右表に示す45のアンケート項目に加え、キャントリルラダーについても併せてアンケート調査を行う。

■ 札幌Well-being指標のイメージ

①自分らしさ

誇り 自己受容

⑥札幌ライフ

札幌の暮らし
札幌の自然
札幌の誇り

②生きがい

希望
自己実現

⑤地域社会の寛容性

人それぞれ
世の中いろいろ

③つながり

身近な人
地域やコミュニティ

④日々是好日

充実した
日常

■ 札幌Well-being指標を構成する6つの枝、12の指標、45の項目

指標の枝	指標	#	項目（アンケート項目）
①自分らしさ	誇り	1	誇りをもって生活を送っている。
		2	いまの生活を楽しんでいると思う。
	自己受容	3	自分のすることと他者がすることをあまり比較しない。
		4	失敗や不安な感情をあまり引きずらないと感じる。
②生きがい	希望	5	日々の生活に希望をもっている。
		6	住んでいる地域に希望を持っている。
	自己実現	7	多くのことを達成してきたと感じる。
		8	何かしらの目標を持っている。
③つながり	身近な人とのつながり	9	夢中になれる活動（仕事・スポーツ・趣味・ボランティアなど）がある。
		10	目標達成に向けて、成長できる機会がある。
		11	家族が楽しく過ごせていると感じる。
		12	困ったとき、苦しいとき、辛いときに夫婦・パートナーで助け合える。
	地域やコミュニティとのつながり	13	友人に思いやりの気持ちをもって接している。
		14	友人が楽しく過ごせていると感じる。
		15	職場・学校・趣味やサークル等の人たちと絆が強く、信頼できる関係にある。
		16	職場・学校・趣味やサークル等での人間関係は良好である。
		17	職場・学校・趣味やサークル等の人たちに感謝の気持ちをもっている。
		18	困ったとき、苦しいとき、辛いときに職場・学校・趣味やサークル等の人たちと助け合える。
		19	居住する地域の人々に思いやりの気持ちをもって接している。
		20	居住する地域の人々との関係は良好である。
④日々是好日	充実した日常	21	誰かと交流することが楽しい。
		22	自分がしたいことをするための、欲しいものを購入するための経済的な余裕がある。
		23	日々の生活を送るのに必要な所得や資産がある。
		24	心身ともに健康であると感じている。
⑤地域社会の寛容性	人それぞれ	25	適切な食事、栄養がとれていると感じる。
		26	結婚して子どもを持つことこそ、女性の幸福だと考える人が多い。
		27	結婚しないで独身で生きても肩身の狭い思いをすることはない。
		28	他人のことはあまり干渉しない雰囲気がある。
	世の中いろいろ	29	LGBTQなどについて、繊細な気づかいができる人が多い。
		30	若者の挑戦を応援する気風がある。
		31	市外出身の人や外国人も、地域住民の一員として受け入れられていると感じる。
		32	身体などが不自由な人への理解が職場などの身近なところで進んでいると感じる。
		33	多少のギャップが生じてても、経済成長の方が大切だと考える風潮がある。
		34	社会の仕組みやルールなどに対して息苦しさや窮屈さを感じることが多い。
		35	札幌市の市民文化やライフスタイルが、生活を豊かにしていると感じている。
		36	都会的な遊び、ファッションなど、余暇を楽しむ充実した環境が、生活を豊かにしていると感じている。
⑥札幌ライフ	札幌の暮らし	37	豊富で新鮮な食材や美味しい料理が日常生活を豊かにしている
		38	買物、娯楽、医療、文化など生活利便性が高く生活しやすい
		39	都市と自然の両方を満喫するライフスタイルを楽しむことができる
		40	ゆとりがあって優しく過干渉しない人の気質が心地よい
	札幌の自然	41	雪と共存した生活を楽しむことができる
		42	四季それぞれと移ろいを楽しむことができる
	札幌の誇り	43	豊かな自然の中での活動を身近に楽しむことができる環境を楽しんでいる
		44	「札幌市」で生活していることに誇りを感じている。
		45	札幌市に観光や仕事で今より多くの外国人に訪れてもらえるようになることは、誇らしく思う。

參考資料

1 SUGATAMIを活用した分析

(1) SUGATAMIの概要

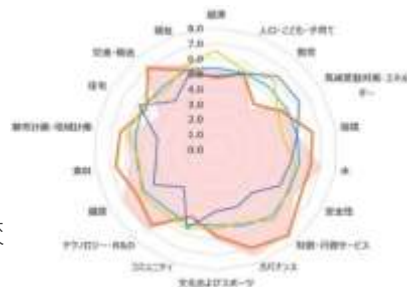
➤ 主観的指標に関する必要な方向性及び取組を検討する上で必要な調査（その他必要と考えられる事項の調査）として、都市機能・そこで暮らすひとびとの満足感・幸福感（Well-being）などの指標から、その地域の豊かさを可視化する仕組みである、NTTグループが提供するSUGATAMIを活用した分析を実施した。

- SUGATAMIとは、**地域・住民の幸せ（Well-Being）の最大化とまちの魅力の可視化**を目的とし、めざすまちの姿と現状を客観的に把握・自認することにより、経済以外の新たな価値基準（人中心）を加えた住民目線での**特色・特徴**を活かした**自治体運営・まちづくり**に寄与するためのツール・取組

※地域の幸せ（Well-Being）：住民の幸福を下支えする地域の設え

①有形・無形のまちの機能をスコア化し可視化するツール・取組

- ・ 数値化
- ・ 偏差値化
- ・ 一覧表化
- ・ グラフ化
- ・ レポート化
- ・ 同規模都市平均比較



②都市機能と住民の満足度・幸福度とのつながり・相関を分析・可視化



③市町村単位で分析・可視化



④他都市との優劣比較・ランキング集計は行わない

“自らを映す鏡”



1 SUGATAMIを活用した分析

(1) SUGATAMIの概要

SUGATAMIのコンセプト

- SUGATAMIは、**他都市との優劣は比較しない“自らを映す鏡”**
- 住民を中心としたまちづくりで、特に重要と考えられる「**幸せ (Well-Being)**」「**サステナビリティ (カーボンニュートラル)**」「**Society5.0 (DX)**」の要素を加味



幸せ (Well-Being)

“個人の幸せ”だけでなく、“地域・住民の幸せ”へ幸せを紡ぐまちづくり・幸福感を高める**ソーシャルキャピタル**（人のつながり・コミュニティ、**まちの歴史・文化、ランドスケープ**など）の追求がまちの豊かさにつながる



サステナビリティ (カーボンニュートラル)

自然資産を“持続可能”なものに再生可能エネルギー・カーボンニュートラルが地球の未来を変える



Society5.0 (DX)

デジタル活用の最大化によるレジリエンス向上とリダンダンシーの確保が新たな社会を切り拓く

SUGATAMIのデータ

- **主観と客観から成る3層のデータ領域**で構成し、**相互の相関**も可視化

①都市機能領域、②満足度領域、③幸福度領域

客観指標

都市機能領域



都市機能スコア

まちの18分野に紐づく都市機能スコア

主観指標

満足度領域



まちの総合満足度
(アンケート)

まちに対する総合的な住民の満足度



18分野別満足度
(アンケート)

まちの18分野に対する住民の満足度



18分野別重要度
(アンケート)

まちの18分野に対する住民の重要度



ポジティブツイート率
(SNS)

まちの18分野に対するTwitterのポジティブなツイートの割合※
(住民・住民以外のデータを取得)

幸福度領域

総合幸福度
(独自算出)

主観的
幸福度
(アンケート)

自分自身の幸せ
(人生満足度)

協調的
幸福度
(アンケート)

自分の身の回りの人も含めた幸せ

※) X (旧Twitter) のポジティブなポスト (旧ツイート) の割合。

1 SUGATAMIを活用した分析

(2) 札幌市の課題と相関のある因子の分析

1) 主観指標との相関分析

- SUGATAMIの札幌市データを活用し、人口増加と関連性があると想定される「合計特殊出生率」、「転入率」、「就労層の地元定着率」に関して、主観指標との相関分析を実施したところ、相関がみられる主観指標は存在しなかった。

赤字：逆相関

満足度設問	合計特殊出生率	絶対値	順位	満足度設問	転入率	絶対値	順位	満足度設問	就労層の地元定着率	絶対値	順位
「交通・輸送分野」：人やモノが円滑に移動できる交通機関の利便性	-0.20	0.20	1	「都市計画・地域計画分野」：自動車を利用しなくても快適に生活できる暮らしやすさ	0.27	0.27	1	「都市計画・地域計画分野」：自動車を利用しなくても快適に生活できる暮らしやすさ	-0.20	0.20	1
「都市計画・地域計画分野」：自動車を利用しなくても快適に生活できる暮らしやすさ	-0.20	0.20	2	「交通・輸送分野」：人やモノが円滑に移動できる交通機関の利便	0.26	0.26	2	「交通・輸送分野」：人やモノが円滑に移動できる交通機関の利便性	-0.19	0.19	2
「交通・輸送分野」：テクノロジー等を活用した先進的な移動手段の導入	-0.16	0.16	3	「交通・輸送分野」：テクノロジー等を活用した先進的な移動手段の導入	0.22	0.22	3	「交通・輸送分野」：テクノロジー等を活用した先進的な移動手段の導入	-0.16	0.16	3
「経済分野」：選べる仕事の種類の豊富さや求人の数	-0.10	0.10	4	「経済分野」：選べる仕事の種類の豊富さや求人の数	0.18	0.18	4	「経済分野」：選べる仕事の種類の豊富さや求人の数	-0.11	0.11	4
「テクノロジー・研究開発分野」：日常生活での情報通信サービスの充実	-0.10	0.10	5	「住宅分野」：住宅地の環境	0.15	0.15	5	地域活動	0.11	0.11	5
「水分野」：上水道・下水道の安定的な供給・運営	-0.09	0.09	6	「テクノロジー・研究開発分野」：日常生活での情報通信サービスの充実	0.15	0.15	6	「テクノロジー・研究開発分野」：日常生活での情報通信サービスの充実	-0.09	0.09	6
「住宅分野」：住宅地の環境	-0.09	0.09	7	「人口・子ども・子育て分野」：多様な人々でにぎわうまちの活気	0.14	0.14	7	「財政・行政サービス分野」：使いやすい質の高い行政サービス	-0.09	0.09	7
地域活動	0.09	0.09	8	「経済分野」：産業の集積や発展	0.14	0.14	8	「人口・子ども・子育て分野」：多様な人々でにぎわうまちの活気	-0.09	0.09	8
「健康分野」：病院や医療サービスの充実	-0.09	0.09	9	「テクノロジー・研究開発分野」：次世代の産業や技術をけん引する先端産業・研究機関等の人材の集積	0.14	0.14	9	「住宅分野」：住宅地の環境	-0.08	0.08	9
「テクノロジー・研究開発分野」：次世代の産業や技術をけん引する先端産業・研究機関等の人材の集積	-0.09	0.09	10	「健康分野」：病院や医療サービスの充実	0.13	0.13	10	「健康分野」：病院や医療サービスの充実	-0.08	0.08	10

1 SUGATAMIを活用した分析

(2) 札幌市の課題と相関のある因子の分析

2) 客観指標との相関分析

- 主観指標と同様に、「合計特殊出生率」、「転入率」、「就労層の地元定着率」に関して、客観指標との相関分析を実施したところ、相関の強い指標が散見された。

赤字：逆相関

指標名	合計特殊出生率	絶対値	順位	指標名	転入率	絶対値	順位	指標名	就労層の地元定着率	絶対値	順位
食ベログ3.5以上の店舗率	-0.74	0.74	1	人口密度が高い地区に住んでいる人口割合（DID人口割合）	0.81	0.81	1	転入率	-0.80	0.80	1
1世帯当たり公共交通機関の平均距離	0.72	0.72	2	就労層の地元定着率	-0.80	0.80	2	情報通信産業の従業者比率	-0.78	0.78	2
基本的な医療環境の充実度（医師・病床数等）	-0.66	0.66	3	スタートアップ企業割合	0.80	0.80	3	スタートアップ企業割合	-0.77	0.77	3
行政業務情報化率	0.66	0.66	4	情報通信産業の従業者比率	0.76	0.76	4	文化施設利用者数	-0.74	0.74	4
交流人口比率	-0.64	0.64	5	交流人口比率	0.76	0.76	5	単位面積当たり地域で認知されているランドマーク(観光拠点数)の数	-0.73	0.73	5
情報通信産業の従業者比率	-0.62	0.62	6	1人当たり新規着工戸数	0.76	0.76	6	商業地平均地価	-0.73	0.73	6
1人当たり学芸員数・司書数	-0.60	0.60	7	1世帯当たり公共交通機関の平均距離	-0.73	0.73	7	WEBサイトの外国語対応言語数	-0.72	0.72	7
伝統料理数	-0.59	0.59	8	食ベログ3.5以上の店舗率	0.72	0.72	8	人口密度が高い地区に住んでいる人口割合（DID人口割合）	-0.71	0.71	8
スタートアップ企業割合	-0.59	0.59	9	文化施設利用者数	0.71	0.71	9	1人当たり新規着工戸数	-0.68	0.68	9
人口密度が高い地区に住んでいる人口割合（DID人口割合）	-0.58	0.58	10	1人当たり学芸員数・司書数	0.71	0.71	10	千人当たり刑法犯認知件数	-0.66	0.66	10

1 SUGATAMIを活用した分析

(3) 満足感と必要度のギャップと幸福感の相関分析

1) 分析の背景とプロセス

- 小泉先生からいただいたアドバイス（第1回ヒアリング）をもとに、札幌市のSUGATAMIデータを利用しキャントリルラダーと“重要度と満足度のギャップ”について相関係数と散布図を算出した。

小泉先生コメント

また、主観的指標を政策検討に活用することを見据えると、政策分野の満足度に加えて必要度を把握し、両者のギャップを認識しておくことは有用である。SUGATAMIの取組みを通して、市民の主観的満足度と幸福感に一定程度の相関があることが証明できているため、**今回は幸福感、満足感、必要度を測定し、幸福感を目的変数、満足感と必要度のギャップを説明変数に設定して分析することで、ギャップが大きいと感じる人ほど幸福感が低いといった結果が出る可能性もある。**良い分析結果が出るとは限らないが、分析の観点として参考にしてもらいたい。（小泉先生）

前提

SUGATAMIレポート作成時に実施したアンケートにおいて、

①キャントリルラダー（0-10点）②18分野ごとの満足度（1-100点）③18分野の中で重要だと思う分野第1-3位 を札幌市民に回答いただいている。

算出プロセス

②については、各満足度を偏差値化、③については1位を3点、2位を2点、3位を1点、選択されていない分野（4-18位）を0点として4種類にスコア化後、当該スコアを偏差値化する。その後、③の偏差値から②の偏差値を引くことで算出されたデータと、キャントリルラダーのスコアについて散布図と相関係数を算出する。

相関係数算出・散布図作成時に用いたデータベース（一部抜粋）

No.	キャントリルラダー	経済	人口・こども・子育て	教育	気候変動・エネルギー対策	環境	水	安全性	財政・行政サービス	ガバナンス	文化・スポーツ	コミュニティ	テクノロジー・R&D	健康	食料	都市開発	住宅	交通・輸送	福祉
1	7	-28.5	-23.3	-18.9	-21.5	-18.0	-12.1	-22.2	-22.2	36.7	-14.4	57.4	-20.5	-18.5	-22.5	0.6	-21.5	-10.9	-21.0
2	2	-3.8	-5.0	-0.9	-2.3	-4.7	4.9	23.3	-2.1	-0.4	-1.8	0.1	1.3	1.8	14.5	-9.1	-2.9	24.7	-2.9
3	6	23.5	9.0	3.8	4.2	-7.1	-14.3	-9.2	-2.1	5.9	-5.4	1.7	7.4	4.2	-13.9	-1.7	-10.0	0.3	-7.2
3594	10	17.5	-2.6	-10.2	-2.3	-0.9	4.9	-4.8	24.6	-0.4	2.1	0.1	1.3	5.7	0.5	2.5	-2.3	-9.5	1.9
3595	2	-5.6	8.9	-0.9	-2.3	32.3	4.9	-6.6	-2.1	-0.4	2.1	78.3	1.3	1.8	0.5	4.7	0.8	-1.1	-1.1
3596	7	14.5	-8.6	-7.1	-5.5	23.0	-3.3	-7.7	-2.1	-6.7	-2.4	-3.0	-4.8	-5.7	0.5	-4.6	-5.4	-8.1	11.1

1 SUGATAMIを活用した分析

(3) 満足感と必要度のギャップと幸福感の相関分析 2)分析結果 (1/5)

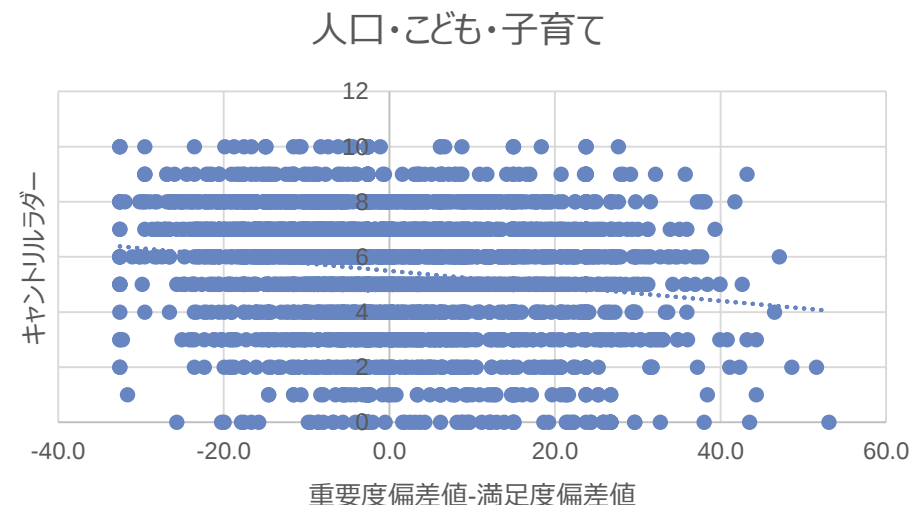
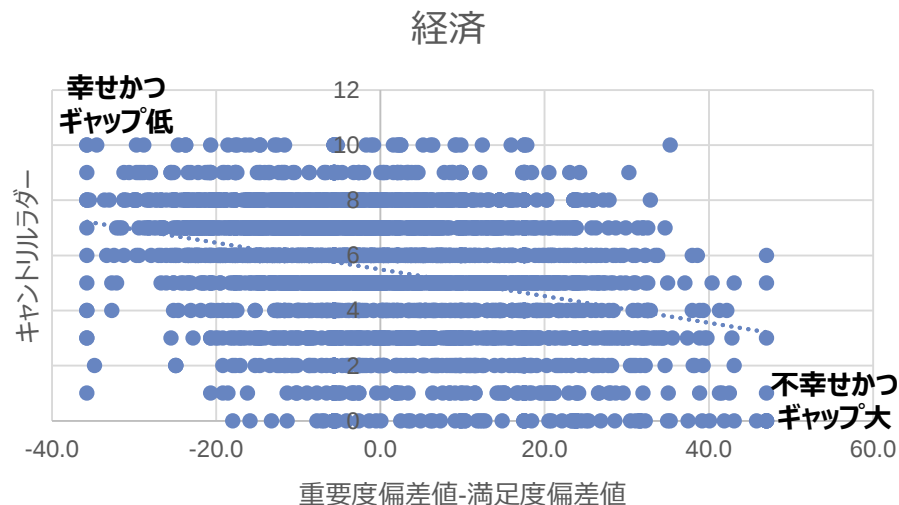
- 相関係数を算出、散布図を作成した結果、**キャントリルラダーの高さと重要度偏差値-満足度偏差値の間にはやや逆相関（経済分野で最大-0.32）がみられる**ことが判明した。
- この結果は小泉先生がおっしゃる通り、幸せと感じている人と、重要と感じている分野における満足度が高い（重要と感じていない分野における満足度が低い）人に相関があることを表す。

18分野における相関分析結果

	経済	人口・こども・子育て	教育	気候変動・エネルギー対策	環境	水	安全性	財政・行政サービス	ガバナンス
相関係数	-0.32	-0.17	-0.22	-0.19	-0.22	-0.23	-0.23	-0.27	-0.22

	文化・スポーツ	コミュニティ	テクノロジー・R&D	健康	食料	都市開発	住宅	交通・輸送	福祉
相関係数	-0.24	-0.23	-0.22	-0.23	-0.22	-0.25	-0.26	-0.23	-0.26

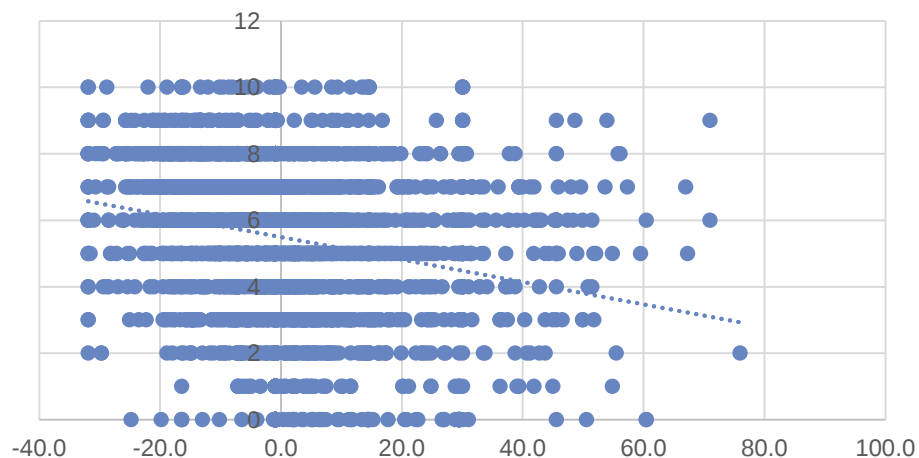
18分野における散布図



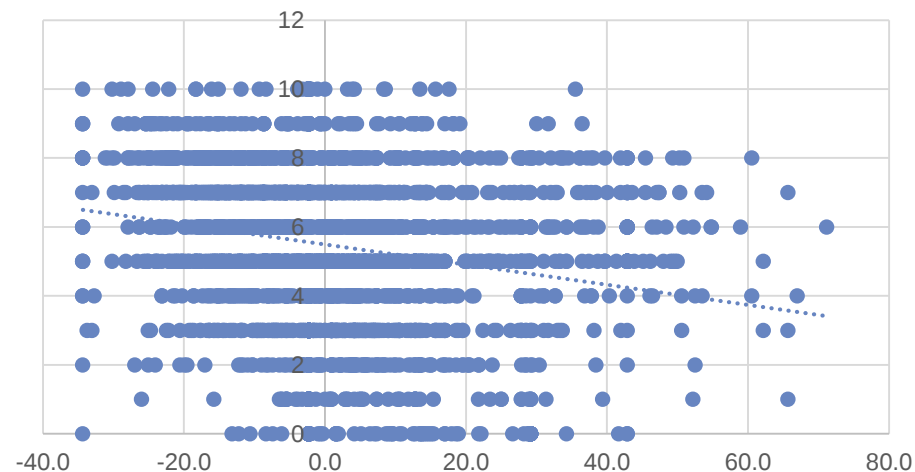
1 SUGATAMIを活用した分析

(3) 満足感と必要度のギャップと幸福感の相関分析 2)分析結果 (2/5)

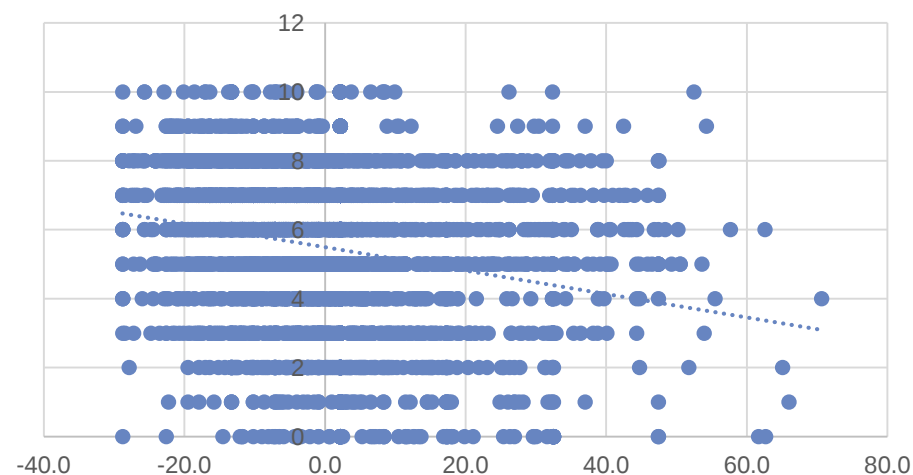
教育



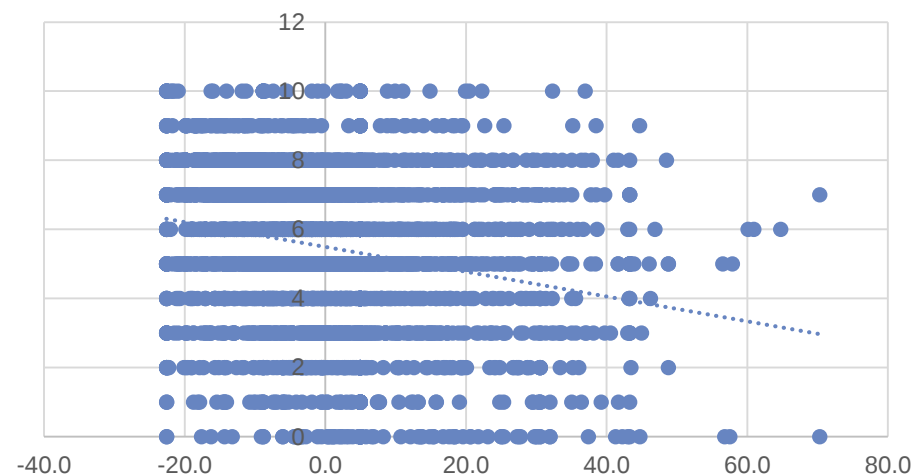
気候変動・エネルギー対策



環境



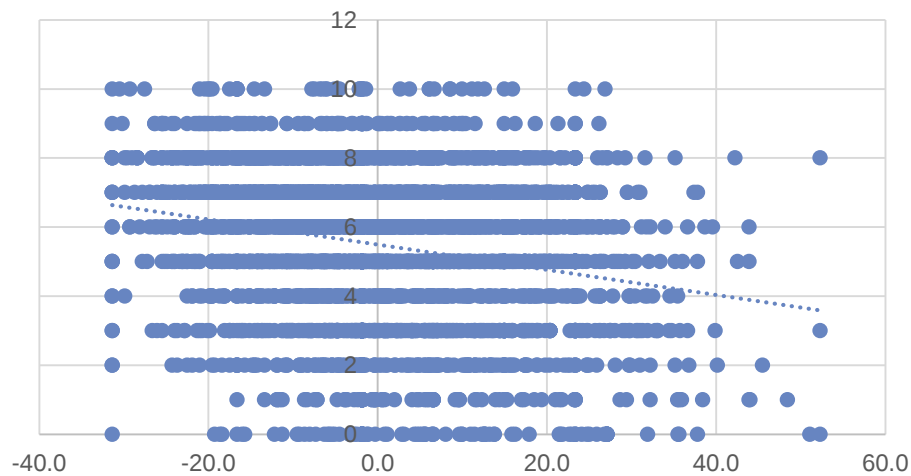
水



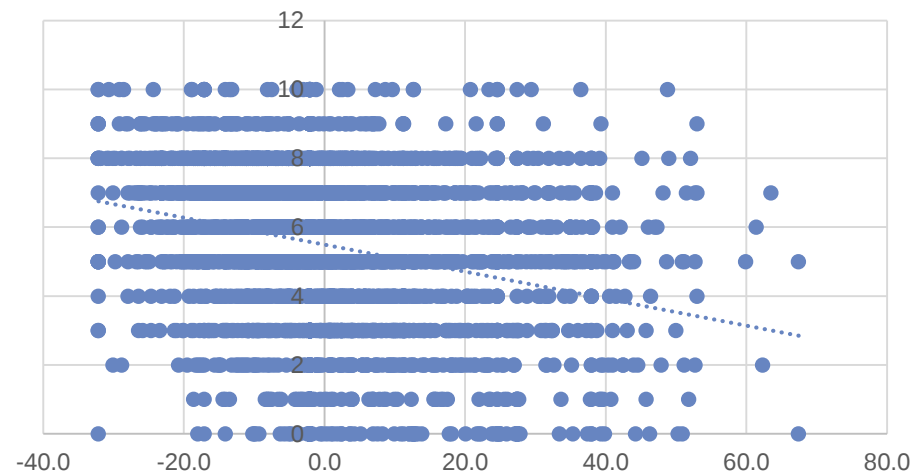
1 SUGATAMIを活用した分析

(3) 満足感と必要度のギャップと幸福感の相関分析 2)分析結果 (3/5)

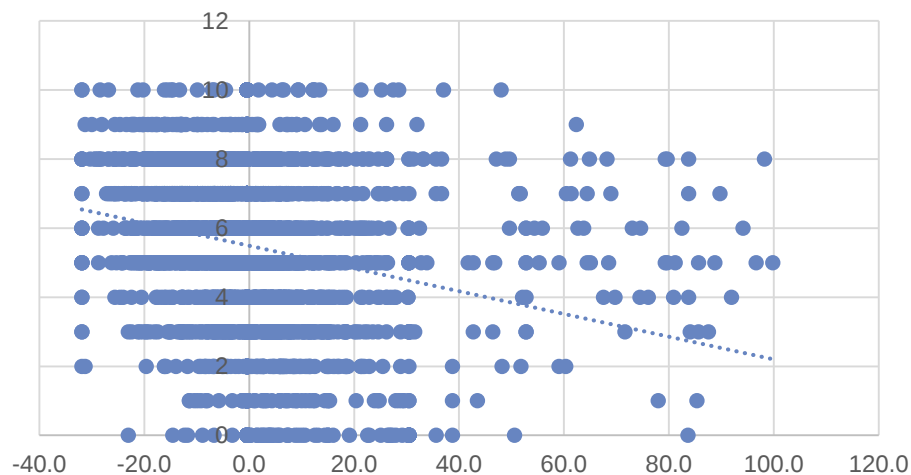
安全性



財政・行政サービス



ガバナンス



文化・スポーツ

